



2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社篠崎屋 上場取引所 東
コード番号 2926 URL <https://www.shinozakiya.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 雅之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営企画部長兼IR室長 (氏名) 矢立 実 TEL 048-970-4949
定時株主総会開催予定日 2024年12月18日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2024年12月19日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	2,785	3.9	△9	-	△6	-	△28	-
2023年9月期	2,680	△4.0	△77	-	△73	-	△22	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	△2.00	-	△2.8	△0.4	△0.3
2023年9月期	△1.61	-	△2.2	△5.3	△2.9

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 -百万円 2023年9月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	1,285	1,010	78.6	71.39
2023年9月期	1,440	1,039	72.1	73.39

(参考) 自己資本 2024年9月期 1,010百万円 2023年9月期 1,039百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	△117	28	△18	518
2023年9月期	48	130	△17	626

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年9月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 2024年9月期の配当予想額につきましては、業績予想の開示を行っていないことから、現時点において未定とさせていただきます。配当については、業績予想の見通しを開示した際にお知らせいたします。

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店舗等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間及び通期の見通しにつきましては分かり次第、開示してまいります。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期	14,436,600株	2023年9月期	14,436,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期	278,800株	2023年9月期	278,800株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	14,157,800株	2023年9月期	14,157,800株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、【添付資料】4ページ、「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料及び決算説明動画につきましては、決算発表後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(持分法損益等)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、消費者にとって価値のある商品づくり、人づくり、店づくりを目指し、「よりいいものをより安く」提供し、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

当事業年度において、商品につきましては、引き続き「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」を強化してまいりましたが、物価高騰の今後の対策として、顧客数の確保を第一に取り組んでまいりました。

当事業年度の売上高は2,785,774千円(前事業年度比3.9%増)、営業損失は9,349千円(前事業年度は営業損失77,077千円)、経常損失は6,056千円(前事業年度は経常損失73,554千円)、当期純損失は28,375千円(前事業年度は当期純損失22,806千円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当セグメントにおいては「よりいいものをより安く」をコンセプトに「三代目茂蔵」ブランドのクオリティ向上を推し進めております。当事業年度におきましては、引き続き「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」の開発強化をすすめ健康ブランド向上に努めました。具体的には弁当類・菓子類等を中心に店頭商品を最重要商品と位置づけ顧客数向上に努めて参りました。

これらにより1店舗平均の顧客数は前事業年度比103.2%となりました。時間帯別では前事業年度より継続して行っている「朝市」等のセール内容を見直しながら終日での顧客数確保に取り組んだ結果、開店から14時までは同95.7%、17時から閉店までは同112.9%となりました。

また、顧客単価につきましては、高価格帯商品の導入などにより同110.5%となりましたが、買上点数が同98.9%となりました。

店舗につきましては、リモート会議にて販売スタッフと情報共有を徹底することにより1店舗あたりの生産性向上を目指しました。

以上の結果、小売事業の売上高は2,472,530千円(前事業年度比6.3%増)となりました。セグメント利益(営業利益)につきましては、継続して商品単価の見直し等を行った効果もあり、129,688千円(前事業年度比210.7%増)となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は313,244千円(前事業年度比11.5%減)、セグメント利益(営業利益)は16,206千円(前事業年度比28.0%減)となりました。

なお、当事業年度の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当事業年度末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	31	—	1	30
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	387	38	33	392
合計		418	38	34	422

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当事業年度末における資産の残高は、前事業年度末と比較して155,675千円減少し1,285,082千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少107,954千円及び長期未収入金の減少37,608千円等によるものであります。

② 負債

当事業年度末における負債の残高は、前事業年度末と比較して127,299千円減少し274,410千円となりました。これは主に、買掛金の減少64,748千円、未払金の減少42,341千円及び1年内返済予定の長期借入金の減少18,750千円等によるものであります。

③ 純資産

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して28,375千円減少し1,010,671千円となりました。これは、当期純損失の計上28,375千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度と比較して107,954千円減少し518,524千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、117,881千円(前事業年度は48,460千円の収入)となりました。これは主に、増加要因として売上債権の減少額9,728千円、減価償却費及びその他の償却費9,497千円等、減少要因として仕入債務の減少額64,748千円、未払金の減少額28,379千円、税引前当期純損失15,398千円等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、28,680千円(前事業年度は130,008千円の収入)となりました。これは主に、増加要因として、長期未収入金の回収による収入37,608千円、敷金及び保証金の回収による収入2,000千円等、減少要因として、有形固定資産の取得による支出10,205千円等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、18,750千円(前事業年度は17,904千円の支出)となりました。これは長期借入金の返済による支出18,750千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期
自己資本比率(%)	77.5	78.5	72.1	78.6
時価ベースの自己資本比率(%)	106.3	96.3	90.4	90.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	114.9	—	38.7	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	106.96	—	252.5	—

(注) 各指標はいずれも個別ベースの財務数値を用いて、次の計算式により算出しております。

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

※1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式を除く)により算出しております。

2. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

3. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

4. 2022年9月期及び2024年9月期は営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであるため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

（4）今後の見通し

次期の見通しとして、商品につきましては、引き続き消費者にとって価値のある商品づくりを目指し、「三代目茂蔵」でしか購入することのできない、「茂蔵オリジナル商品」を中心に専門性が高く高付加価値商品の開発を強化しつつ、利益改善に努めて参ります。

店舗におきましては、「三代目茂蔵」としてのブランドのクオリティを向上させるべく、販売員の商品知識の向上や販売手法の強化、店舗毎の強化商品の設定や陳列方法の随時見直しなどについて、本部スタッフとのコミュニケーション強化に取り組むことで、消費者にとって魅力のある売り場づくりを引き続き推し進めてまいります。また、引き続き店頭商品を強化し、新規顧客の獲得及び買上点数の増加を図ってまいります。

2025年9月期の業績予想につきましては、当社の売上高の88%以上を占める小売事業においては、昨今の天候不順事象の増加から、その影響を想定することが年々困難となっており、加えて世界情勢の見通しも不透明であるため、業績見通しの試算値等を公表することも当社の投資判断に誤解を生じさせる可能性が高いと考えております。

従いまして、現段階におきましては業績見通しを公表できませんが、2025年9月期第2四半期累計期間につきましては同第2四半期中、及び同通期につきましては同第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をしてまいります。また、月次における既存店売上高等の情報開示につきましては、さらなる充実を図ってまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の事業は現在、日本国内に限定されており海外での事業展開がないこと、また国内の同業他社との比較可能性を確保するため、当面は日本基準にて財務諸表を作成する方針であります。

なお、将来のIFRS（国際財務報告基準）適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	626,478	518,524
売掛金及び契約資産	66,546	56,817
商品及び製品	31,734	38,110
原材料及び貯蔵品	3,165	2,838
前払費用	20,587	19,966
その他	46,160	47,146
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	794,632	683,364
固定資産		
有形固定資産		
建物	464,581	459,488
減価償却累計額	△438,041	△438,470
建物（純額）	26,539	21,017
構築物	59,386	59,386
減価償却累計額	△56,101	△56,566
構築物（純額）	3,285	2,820
機械及び装置	6,162	6,162
減価償却累計額	△4,206	△4,754
機械及び装置（純額）	1,956	1,408
車両運搬具	8,672	8,672
減価償却累計額	△8,007	△8,566
車両運搬具（純額）	664	105
工具、器具及び備品	155,236	152,909
減価償却累計額	△150,448	△147,403
工具、器具及び備品（純額）	4,787	5,506
土地	189,970	189,970
有形固定資産合計	227,204	220,829
無形固定資産		
ソフトウェア	3,556	2,689
電話加入権	439	439
無形固定資産合計	3,996	3,129
投資その他の資産		
出資金	243	243
破産更生債権等	186	186
敷金及び保証金	104,525	104,958
長期未収入金	310,266	272,658
その他	0	0
貸倒引当金	△297	△287
投資その他の資産合計	414,923	377,758
固定資産合計	646,125	601,717
資産合計	1,440,757	1,285,082

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,364	172,616
1年内返済予定の長期借入金	18,750	—
未払金	83,258	40,917
未払費用	34,466	35,209
未払法人税等	20,924	19,942
預り金	4,245	3,024
流動負債合計	399,010	271,710
固定負債		
長期預り保証金	2,700	2,700
固定負債合計	2,700	2,700
負債合計	401,710	274,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金		
資本準備金	120,340	120,340
その他資本剰余金	106	106
資本剰余金合計	120,446	120,446
利益剰余金		
利益準備金	17,094	17,094
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△57,598	△85,974
利益剰余金合計	△40,503	△68,879
自己株式	△40,896	△40,896
株主資本合計	1,039,046	1,010,671
純資産合計	1,039,046	1,010,671
負債純資産合計	1,440,757	1,285,082

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,680,382	2,785,774
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	35,155	31,734
当期製品製造原価	260,202	268,907
当期商品仕入高	1,693,166	1,734,007
合計	1,988,524	2,034,649
他勘定振替高	94	94
商品及び製品期末棚卸高	31,734	38,110
売上原価合計	1,956,695	1,996,443
売上総利益	723,687	789,330
販売費及び一般管理費	800,764	798,679
営業損失(△)	△77,077	△9,349
営業外収益		
受取利息	3,688	4,222
受取賃貸料	10,680	9,582
その他	22	20
営業外収益合計	14,391	13,824
営業外費用		
支払利息	198	56
賃貸費用	10,667	9,411
その他	3	1,063
営業外費用合計	10,869	10,531
経常損失(△)	△73,554	△6,056
特別利益		
固定資産売却益	82,449	29
特別利益合計	82,449	29
特別損失		
固定資産除却損	109	218
減損損失	8,710	5,247
店舗閉鎖損失	8,754	3,906
その他	100	-
特別損失合計	17,674	9,372
税引前当期純損失(△)	△8,780	△15,398
法人税、住民税及び事業税	14,026	12,976
法人税等合計	14,026	12,976
当期純損失(△)	△22,806	△28,375

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)		当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※	199,332	76.6	204,664	76.1
II 労務費		41,837	16.1	44,225	16.5
III 経費		19,032	7.3	20,018	7.4
当期総製造費用		260,202	100.0	268,907	100.0
当期製品製造原価		260,202		268,907	

原価計算の方法

原価計算の方法は、単純総合原価計算であり、期中は予定原価を用い、原価差額は期末において製品、売上原価等に配賦しております。

(注) ※ 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
運賃	6,671千円	6,182千円
地代家賃	3,371	3,813

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,000,000	120,340	106	120,446	17,094	△34,791	△17,697
当期変動額							
当期純損失(△)						△22,806	△22,806
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△22,806	△22,806
当期末残高	1,000,000	120,340	106	120,446	17,094	△57,598	△40,503

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△40,896	1,061,853	1,061,853
当期変動額			
当期純損失(△)		△22,806	△22,806
当期変動額合計	—	△22,806	△22,806
当期末残高	△40,896	1,039,046	1,039,046

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,000,000	120,340	106	120,446	17,094	△57,598	△40,503
当期変動額							
当期純損失(△)						△28,375	△28,375
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△28,375	△28,375
当期末残高	1,000,000	120,340	106	120,446	17,094	△85,974	△68,879

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△40,896	1,039,046	1,039,046
当期変動額			
当期純損失(△)		△28,375	△28,375
当期変動額合計	-	△28,375	△28,375
当期末残高	△40,896	1,010,671	1,010,671

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△8,780	△15,398
減価償却費及びその他の償却費	15,728	9,497
減損損失	8,710	5,247
貸倒引当金の増減額(△は減少)	110	△10
受取利息及び受取配当金	△3,688	△4,222
支払利息	198	56
為替差損益(△は益)	△2	3
固定資産売却損益(△は益)	△82,449	△29
固定資産除却損	109	218
店舗閉鎖損失	8,754	3,906
売上債権の増減額(△は増加)	△4,549	9,728
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,170	△6,049
仕入債務の増減額(△は減少)	82,191	△64,748
未払金の増減額(△は減少)	23,047	△28,379
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,790	△11,567
その他	△6,244	△6,272
小計	51,096	△108,018
利息及び配当金の受取額	3,688	4,222
利息の支払額	△191	△49
法人税等の支払額	△6,132	△14,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,460	△117,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,671	△10,205
有形固定資産の売却による収入	117,426	30
無形固定資産の取得による支出	△1,280	△319
敷金及び保証金の差入による支出	-	△433
敷金及び保証金の回収による収入	15,532	2,000
長期未収入金の回収による収入	-	37,608
リース債権の回収による収入	2,001	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	130,008	28,680
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30,000	-
長期借入金の返済による支出	△47,904	△18,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,904	△18,750
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	160,567	△107,954
現金及び現金同等物の期首残高	465,911	626,478
現金及び現金同等物の期末残高	626,478	518,524

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「三代目茂蔵」直営店による小売事業を中心に事業活動を展開しております。従いまして、当社は、「小売事業」及び「その他事業」の2区分を報告セグメントとしております。なお、「その他事業」は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントごとの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,326,582	353,800	2,680,382	—	2,680,382
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,326,582	353,800	2,680,382	—	2,680,382
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,326,582	353,800	2,680,382	—	2,680,382
セグメント損益	41,741	22,521	64,262	△141,339	△77,077
セグメント資産	366,609	80,922	447,531	993,226	1,440,757
その他の項目					
減価償却費	11,920	1,567	13,487	2,128	15,616
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	6,629	345	6,975	295	7,270

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント損益の調整額は、各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントには配賦していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金並びに管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門等に係る資産の増加額であります。
2. セグメント損益は損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,472,530	313,244	2,785,774	—	2,785,774
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,472,530	313,244	2,785,774	—	2,785,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,472,530	313,244	2,785,774	—	2,785,774
セグメント損益	129,688	16,206	145,895	△155,244	△9,349
セグメント資産	362,108	74,891	437,000	848,081	1,285,082
その他の項目					
減価償却費	6,590	756	7,347	2,150	9,497
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	6,220	—	6,220	1,985	8,206

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント損益の調整額は、各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントには配賦していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金並びに管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門等に係る資産の増加額であります。
2. セグメント損益は損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

損益計算書の売上高に占める割合が10%を超える顧客がないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

損益計算書の売上高に占める割合が10%を超える顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 千円)

	小売事業	その他事業	全社・消去	合計
減損損失	8,710	—	—	8,710

当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	小売事業	その他事業	全社・消去	合計
減損損失	5,247	—	—	5,247

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	73.39円
1株当たり当期純損失金額(△)	△1.61円
	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
	1株当たり純資産額
	71.39円
	1株当たり当期純損失金額(△)
	△2.00円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純損失(△)(千円)	△22,806	△28,375
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△22,806	△28,375
期中平均株式数(株)	14,157,800	14,157,800

(重要な後発事象)

該当事項はありません。